

第84号

2023年6月
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX

022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : muginokai@k5.dion.ne.jp <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	総会報告	飯嶋 茂	… 1p
	自己紹介	大松澤 玄聖	… 7p
	漢字のかみさま⑨	神品 暖子	… 10p
	新聞記事より		… 11p
	宮城野区役所販売	氏家 大介	… 12p
	瑞宝太鼓	阿部 央希	… 12p

総会報告

5月27日、麦の会の総会を行いました。変わらぬ課題も多くありますが、今後も皆さんと共に歩んでいきたいと思っております。以下に事業報告、貸借対照表を載せて総会の報告とさせていただきます。

飯嶋

2022年度事業報告

【1】認定NPO法人の更新申請

より信頼性のあるNPO法人を目指すため、認定NPO法人の申請を進め、2018年2月1日に認定がおりました。

認定NPO法人は5年ごとの更新申請をしなければなりません。2022年度はその更新申請の年度でした。認定を受けてからの初めての更新申請でした。結論からいいますと、申請は無事認められました。2028年1月31日までが新しい認定有効期間になります。

多くの皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

次回の更新申請は2027年度に入ってから行うこととなります。更新申請では過去5年間の必要書類を確認されます。今回の申請で指摘された事項を記録し、次回の更新の参考として残したいと思っております。

認定の最低条件として、3,000円以上の寄付者・賛助会員が100名以上いることがあります。最初の認定申請では、100名ぎりぎりでした。今回はおかげさまで、各年度とも120名以上の方から寄付・賛助会費をいただくことができていました。そして寄付者・賛助会員の名簿についても、日付順・名前順に整備し、領収証を発行すること、また、入金記録も確認されます。これらについては初回認定時に一番苦労したこともあり、気を付けて整備していましたので問題ありませんでした。

ぎりぎりでクリアしたのは、特定の団体に属する役員が、1/3以下という条件でした。フルハウスの役員と兼ねている役員が複数いて、条件ぎりぎりの期間があり、2021年度には理事を増やして対応しました。この条件は5年間で一度でも満たない期間があると更新は認められないので、その点は役員改選時に注意しなければなりません。

申請書類を整えてから、仙台市の担当課の方が3日間コッペに書類の確認に来られました。その際に指摘された事項は以下の通りです。

① 2020年度の活動計算書と総勘定元帳との数字があわない

…元帳が正しいので活動計算書を修正

受取利息 元帳 1,761円 活動計算書 1,726円

雑収入 元帳 283,198円 活動計算書 283,233円

総会の議決事項ではないが、修正の報告することが望ましいとのことでしたので、改めて報告します。

② 認定基準チェック表（第2表）

- ・ 便益が及ぶ者が特定の範囲のものである活動に係る金額等の未記入

福利厚生としてレクレーションに支出した金額等が相当する

- ・ 特定の者に対し、その者の意に反した作為又は不作為を求める活動に係る金額等の未記入

女川原発再稼働反対運動へのカンパ金等が相当

→これらの金額が全体の支出の1/2以下でなくてはいけないという規定があります。金額としては全く問題ない金額でしたが、いずれも0円で報告しており、実際に支出した金額で訂正しました。

③ 認定基準チェック表（第3表）

各社員の表決権が平等であることの根拠の未記入。定款29条で「平等」が規定されていて、追加で記入。

④ 報酬等の状況の支給期間は、申請書が受け付けられた期間までで計算。3月末で計算していたので、再計算して提出。

⑤ 閲覧書類 履歴事項証明書が必要。最新のものをそろえていなかったの
で、取得して添付。

以上の修正を行い、上述した通り、更新申請が 2023年1月17日付で認め

られました。

帳簿等の整備状況は、きちんとされているとの評価もいただきましたので、引き続き適正に行っていきたいと思えます。

また、閲覧用として整備する書類の役員名簿等の住所は黒塗りをする必要があるとのことで、記録用とは別に整備するといいでしょうとの指摘もありました。2023年度分から対応したいと思えます。

本筋からは外れるのですが、実は一番の問題は書類の置き場所でした。NPO法人の関係書類の他、福祉関係の書類、食品製造に関わる書類と、結構な分量になります。これの整理・保管場所が大変です。このあと述べますが、事務スペースとして新しく部屋を借りたことで随分助かりました。

【2】コッペの2階の賃借

賃借している建物の1F部分を作業場・事務所・店舗・休憩室として使用していましたが、人が増えた分手狭になっていました。2Fの202号室が空いたのを機に、2022年4月20日付けで新たに賃借しました。活用方法は、事務所スペース、休憩スペース、資料・保存文書置き場、資材置き場です。その分の空いたスペースで、1Fの作業場を拡張しました。

広くなった分、作業場の動線はだいぶ改善されました。新しい機器も入れ、生産効率も多少は上がりました。お昼休みも2Fを利用しています。畳で横にもなれるので疲れた時にも安心です。

改修にあたり多くの皆さんから寄付金もいただきました。ありがとうございます。

金額面は以下の通りです。

改修工事費用 3,510,881円(税込み)

ホイロ・冷凍冷蔵コールドテーブルの購入 1,236,400円(税込み)

事務機器 机・収納書棚等 441,056円(税込) 改修費用計 5,188,337円

賃借料 *2F 202号 家賃55,000円

*1F 101号 88,000円 102号 198,000円 341,000円

*駐車場8台分 56,000円 合計 397,000円

他に複合機・パソコン回線の増設等、リース料金も前年比倍になっています。

改修にあたっては、消防署の確認も大変でした。2Fに避難設備をつける必要があるとなり、避難はしごも用意することになりました。これについては、半年に1回、防災関係の業者にきてもらってチェックすることも必要になります。

作業場の改修工事は、7/30(土)~8月16日(火)にかけて行いました。その間は、2階の新しく借りた部屋で作業をした他、普段は行くことができない他の事業所に視察旅行と銘打ってみんなで行きました。北は奏海(かなみ)

の杜のさんから南はワタリスさん、相馬のもくもくさんまで、日ごろお世話になっている皆さんと交流することができて、いい経験になりました。視察旅行についてみんなで麦の穂に報告を書いてもらいました。

新たに賃借したことで当然ながら経費は増えています。その影響がどこまであるのか、来年度の課題となります。

【3】理事会

2022年度は計9回行いました。認定NPO法人更新申請や改修工事についてなど、今後の会の方向性を決定してきました。

コッペでは、みんなで運営を考えていこうとやってきました。法人格を得る前までは運営委員会を月1回開催していました。法人格を得た後は、運営委員会を引き継ぐものとして「理事会」を行っていますが、みんなで運営を考えていこうと理事以外の方にも参加をお願いしてきました。しかしながら最近では理事以外の出席者が少ないのが現状です。

代表理事はもとより理事そのものの世代交代も求められています。引き続き都合がつく限り皆さんにも参加してもらおうことを呼びかけます。

【4】会員（2022年3/31現在）

正会員28名、賛助会員・寄付者138名（重複者除く）（昨年度より11名増）となっています。改修工事の寄付を募ったための増加です。

認定更新の件でも述べましたが、認定NPO法人として継続するためには、年3,000円以上の賛助会員・寄付者が平均で100名以上いることが最低の条件です。

安定して認定の条件をクリアするためには引き続き寄付者・賛助会員の増加が必要です。今後も情報発信に努めながら賛助会員・寄付者の拡大を図ります。ご協力を引き続きお願いします。

【5】社会教育の推進

① 会報「麦の穂」の発行 計4回 2022年6月・8月・12月・2023年3月

今年度は予定通り4回発行（350部前後）できました。発行部数は50部ほど増えています。関係する団体の方から原稿をいただいたり、コッペの障害メンバーからの原稿もあり、内容もまずまずだったと思います。賛助会員の確保のためにも会報は大切です。しっかり定期的に発行したいと思います。

② ボランティアの受け入れ

区役所販売・DNP販売・ショップ等には、ボランティアの方にお世話になっています。ボランティア保険に加入し活動中のケガ等に備えました。

高校生の夏ボラ体験の受け入れは、改修工事の期間と重なったためできませんでした。

【6】就労継続支援B型「コッペ」の運営状況

① 開設状況

開設日数は、258日／年、利用者延べ数は、3,783人（昨年254日／年、利用者延べ数は、3,715人）となっています。コッペの定員としては、20名。在籍は19名、一日当たりの平均利用者数は、14.7人（昨年14.7人）となりました。延べ数、平均数ともほぼ昨年と同様になっています。

それを支えるスタッフは、常勤5名、パート4名です。それに区役所販売等を手伝っていただけるボランティアの方々等に、協力して頂きました。多くのメンバーにも外へ出てもらおうと、配達・販売にもこれまで行っていなかったメンバーも参加してもらいました。土日のイベント販売時には障害メンバーも参加してもらえるとありがたいです。

② 売り上げ

パンとクッキーの売り上げは、約2,910万／年（仕入れ販売分340万含む）、月平均242万となっています。2021年度の売り上げからは約406万上がりました。売り上げとしてはコロナ前よりも上がっています。大学生協での売り上げの増加や新規取引先、福の市の開催、多団体とのコラボ商品の開発等が要因となっています。

コロナ以降、他の事業所との共同出店の機会も増えています。イベントでの販売は人員の確保が大きな問題になります。互いにプラスになるように今後も続けていきたいと思えます。

月2000円の会費で福祉事業所の製品をお届けしているB-NETサポーター一会員も増えています。現在98名。あと2名で100人です。コロナではやめたサブスクリプションの先駆けともいえます。是非お声がけをお願いします。事務局・多夢多夢舎中山工房の会員を含めると全体では165名です。

売り上げは良かったわけですが、やはり原材料費等の高騰で利益は圧迫されています。

パンは値上げ、クッキーはグラム数の変更で対応はしていますが、今後も状況が改善されるとは思えず、不安要因になっています。

③ 訓練等給付費収入

2021年度は3,260万ほどとなりました。ほぼ前年並みの数字となっています。

④ 工賃

障害メンバーの給料は、総支給額で8,762,950円、平均工賃は、38,774円

となり、2021年度 35,356 円よりやや増加しました。先に述べたように売り上げは好調だったのですが、原材料価格等の高騰により利益は少なく、小幅な増加にとどまりました。

コッペの目的とする共に働くことの具体的な現われが工賃の金額です。その目標が達成できないのでは、コッペをやっていくこと自体の意味がありません。

必要経費も増えている中、再度工賃アップに向け、さらなる売り上げの増加が必要です。

⑤ 収支状況

改修工事に要した費用、それに伴うリース料等の諸費用の増加、原材料価格の高騰などの影響が大きく、収支としては、約 54 万の赤字となりました。

⑥ レクリエーション・研修

「COOPトリプルカード みやぎスマイル基金」の助成を得て、健康レクリエーションを全 8 回行いました。毎回 10 名以上の方が参加しました。運動不足になりがちなメンバーに体を動かす機会の提供をするとともに、余暇活動の一つとなりました。

長く続けていただいていたいちえさんの食事会ですが、いちえさんがやむなく閉店となったため継続できませんでした。これまで開催いただいたことに感謝申し上げます。

【7】NPO法人フルハウスとの連携

コッペの直接の運営母体は麦の会ですが、障害者総合支援法上は、NPO法人フルハウスが運営する形になっており、訓練等給付費もフルハウスを通じて入ってくる仕組みとなっています。給付費の請求事務は、もとになるデータはコッペで作成し、国保連への請求はソレイユから行っています。それに対して月 1 万円の事務手数料をソレイユに支払いしています。

引き続き情報交換をしながら連携していきたいと思えます。

【8】NPO法人共同連並びに東北ブロックについて

NPO法人共同連は、コッペの立ち上げからお世話になってきました。全国の共に働く事業所の団体です。ZOOMでの会議の他に、今年度は東北ブロック交流会も行いました。共に生き、共に働く～多様な形態、多様な場所から～をテーマに、5 人のシンポジストの方に登壇いただき、2022 年 10 月に施行された労働者協同組合の実践についても報告してもらいました。各地の方々とは対面で交流できたことはうれしいことでした。

11/12 には札幌で一日だけの開催でしたが、全国大会も行われました。今後も共同連の活動に参加したいと思います。

今年の2月からB型作業所 コッペロに通い始めました。

大松澤玄聖です。こちらのB型作業所で働くきっかけになったのは
去年の~~10月~~12月まで、仙台・スイーツのカフェ専門学校に通
っていたのですが、精神的な面で、環境が自分にはあわなく、退学を
考え、カウンセリングの先生に、こちらの作業所をすすめられ、自分で
も、障害がある人、~~障害がある人~~でも障害のない人でも、~~普通に~~^{普通に}
働けるといふ話を聞き、最初に作業所を見学した時、~~とき~~^{とき}
はほき働かれています、正直驚きました。

コッペロに入って、3ヶ月半が過ぎ、少しづつ仕事にもなれてきま
した。~~それが~~また自分で何をすればいいか、うまく考えて働く事も
出来ていなく、今日も仕事が終わった後、次に何をすればいいか分から
なく、たじろおこしていました。

もと、職場の人達や先輩達の下に頭でしっかり考えて行動
出来なくて、生きていけない。

仕事も、何をするときも誰にもたぐりないで、自分の力で、
ときほき完璧に、誰よりも早く、ていねいに、あしをひきはら
ないように、生きてる中、小学校時代、専門学校まで
の時間軸の中で、今も沢山後悔をして生きてるので、
これ以上失敗をくり返えさせないように、人生を歩んでいけるように
このコッペロで、自分を変えていけるように、頑張ります。

今の世の中、コロナで、沢山の人の笑顔が失っていて、コロナ以外でも、私の知らない所で沢山の人の心が暗く、苦しんでいる人も沢山います。なので、その人達をいつか、元気に笑顔に戻す事に頑張りたい。自分の心がホロホロになっても、最後、自分がどうい、たれかの役にたつてからこの世を去りたいとも考えます。ゴッパの仕事をして居る時も、私は、誰かのために頑張れる人だと思えば、もっと頑張りたいくなります。たしかに仕事は必死で頑張らなければならない時がありますが、今の苦しい時間をのりこえる方法は、ただ、頑張るしかありません。今の自分はまだまだひたひたの下の下です。誰の役にたてないようでは、生きる価値もない。誰かを助ける事も受ける事も、全て背おいきれる程なくこの世から去らな、私は、生きて居る意味がないとも時々考えてしまいます。

どうすれば人の役にたてるかどうすれば心が強くなるかもそれ以外ももっとも考えなくちゃいけません。今の自分は親や周りの人達が言うように、たぶらっとなして馬鹿馬鹿目です。

~~未来~~ 未来をもっと沢山明るくする方法、これ以上誰かが目の前が夕消えないようにする方法、まだ自分が残り、この先の人生をどう変えていくかは、私がどうにかしなくてはいけないと思っております。

私は、いつか、今以上に私にたがおこしてはいけない罪を

作るかもわかりません。私が一番怖い人間は自分です。これまで
どれだけの罪を作ってきたか、思い出せば思い出すほど、イライラ
します。私個人が、最初から生まれていなければ誰も苦しなくおんた
はおんたのに、なせ神様は私をこの世界に生~~か~~^ませたのか、全く意味が
分かりません。~~それは~~過去にもっと努力していれば、二人おんに
後悔しなくとおんた~~た~~たのに、昔の私はなせ自分のあやまちに
気付けなかったのか、~~今~~現在の自分も~~今~~^{あやまち}気付けていない。
もっとも自分が今、本当にやりたくもない仕事、この先ももっと
仕事をしなから探し、見つけ出したいと思ひます。
このくらい、訳の分からぬ自己紹介をしてしまい、まことにすみません。
私にはまだ、達成出来てない事が多いおんたです。
なにとおんたに、自分を愛せられるように元気で長ります。
これ以上同じあやまちをくりかえさないくらうにおんた。
今後ともよろしくおんた願ひします。

今月の暖子さん

仕事・漢字を頑張っています。
今回は、ことわざです。

犬	椿	芋	牛	馬	え	鹿	か	し	犬	猿	落	蛇	年	た
も	に	を	の	の	び	に	も	ち	猿	も	ち	の	つ	を
歩	当	洗	歩	耳	で	金	が	つ	の	木	る	道	鳥	食
け	た	う	み	に	棒	ね	て	仲	か					う
ば	り			急	た	ぎ	来	ら	落	蛇	跡			も
		芋	牛	仏	い	魚	を	る	犬	ち		を		も
犬	椿	を	の		を	に			猿	猿	る	蛇	濁	も
も	に	洗	歩	馬	釣	金	か	し	の	も		の	す	た
歩	当	う	み	の	る	棒	も	ち	仲	木	る	道		で
け	た			耳			が	つ	か	ち	は			を
ば	り	芋	牛	に	え	魚	ね	て	犬	ら	る	蛇	立	食
		を	の	念	ひ	に	ぎ	来	猿				つ	う
犬	椿	先	歩	仏	で	金	を	る	の	猿	落	鳥		も
も	に	う	み		棒				仲	も	ち	の		も
歩	当			馬	た	か	し		木	か	る	道	跡	た
く	た	芋	牛	の	い	魚	も	ち	犬	か		左		で
け	り	を	の	耳	を	に	か	つ	猿	ら	落	蛇	濁	を
ば		洗	歩	に	釣	金	ね	て	の		ち		す	食
		う	み	念	る	棒	ぎ	来	仲					う
				仏				る						も

障害者絵画 日常へ彩り

仙台市で開催中の第10回全国都市緑化仙台フェア「未来の社せんたい2023」に合わせ、藤崎（青葉区）がトートバッグを販売している。デザインの原因を、就労支援事業所「多夢多夢舎中山工房」（同）に通う障害者3人が担当。植物をモチーフに、独創的で色鮮やかな商品が出来上がった。

花や果物 トートバッグに



トートバッグの原画を担当した（右から）北野 絵、竹内 聖、佐藤 真彦

トートバッグ（縦46センチ、横42センチ）は、赤と黒でダイナミックに表現した「チューリップ」、色彩豊かな「オオイヌノフグリ」、草木や果物をちりばめた「みんなの宝物」の3種類。内側のポケットにも、外側と同じ柄があしらわれている。



未来の社せんたい 2023
Munashi no Murasen-tai

藤崎で販売「見て元気になって」

「オオイヌノフグリ」の竹内聖太郎さん(30)「景区には「花をびっしり埋められるように頑張ってる」と話し、「みんなの宝物」の佐藤真彦さん(30)「同」は「コロナ禍で大変だった人もカラフルな絵を見て、元気になってほしい」と願った。

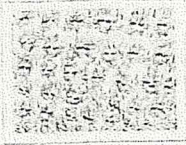
藤崎がNPO法人エイブル・アート・ジャパン（東京）が運営する「障害者芸術活動支援センター@宮城」に協力を依頼。県内のアーティストや障害者アーティストを開発する福祉施設に声がけして集まった約100点の候補から3人の原画が選ばれ、仙台市のデザイナー大江ようさんがレイアウトなどを手がけた。

1枚5000円で、各500枚制作。藤崎の本館1階と県内の小型店舗に加え、青葉区の「山登線彩館」でも販売している。売り上げの一部は仙台市の「百年の杜」つくり推進基金に寄付される。

花いっぱい - dear flower tote



北野絵里
「チューリップ」



竹内聖太郎
「オオイヌノフグリ」



佐藤真彦
「みんなの宝物」

みなさまのくらしを花いっばいに彩りたい
多夢多夢舎中山工房（仙台市）に所属するアーティストの花をモチーフにした作品と、TEXTのデザイナー・大江ようさんのディレクションにより素敵なトートバッグが完成しました

協力：障害者芸術活動支援センター@宮城（NPO法人エイブル・アート・ジャパン）
地域でさまざまに活動している障害のある人たちの表現活動を発掘し、その魅力や情報を発信し、新しい交流や参加の機会をつくりたいと考え活動しています

【ウェブサイト】

障害者芸術活動支援センター@宮城
<https://sout.ab-npo.org/>



多夢多夢舎中山工房
<http://rami.amu.jp>



5月30日(火)

宮城野郎が反売に売ってしま
がキーパンをなげました。

いらっしやいませといひおき
たてい
かっかーはいいかか
ていすかといひました。

おきたてパンはたき
の
おきたてが
かっかてきました。

おきるほ
るたの
原
学
でい

きやし中華の力
強
たてました。

おいしかった
ていす。とて
もあつた
ていす。

氏名 大介

阿部 夫希

王 崑 室 太 鼓

ありがとフコンサート

の、のリス人 合わせて本当の力強
の
太鼓の音が急合
の
がの、の強
く
ただ
いてがっこ
の、の男達
がと
し
も
すばらしい
の、の思
っての
ます。

王崑室太鼓は男達はしっかり良
く
「この太鼓は」最高です。ありがとフ
僕
は太鼓が一番思
の、の
出
が
できました。